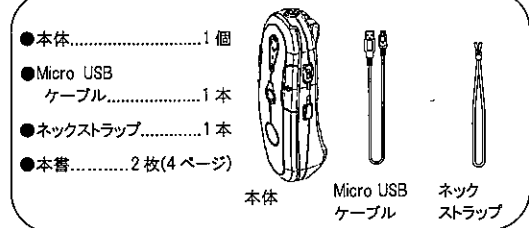


取扱説明書・保証書

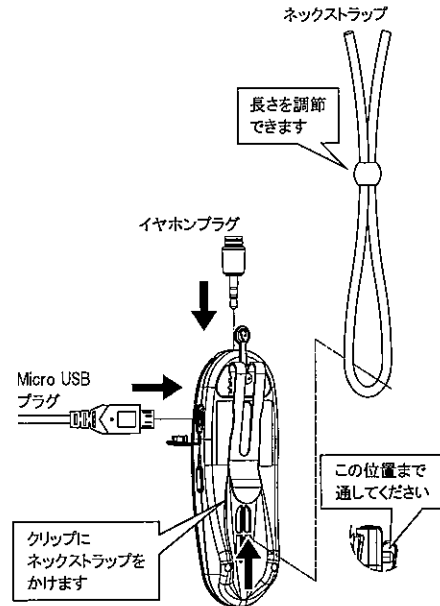
このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全にご使用していただくために、事前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後もいつでも見られるように保管してください。

製品構成

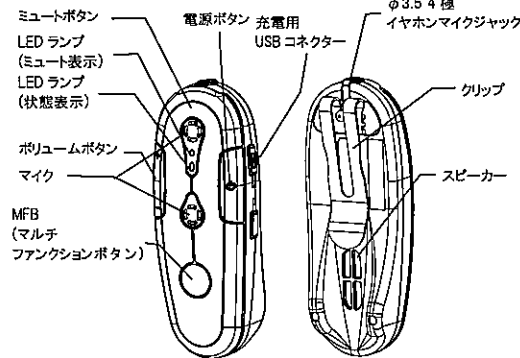
ご使用前に本体および付属品が全て揃っていることをご確認ください。



付属品およびイヤホン(別売)の装着のしかた



各部名称・機能



お手入れ方法

汚れが目立つ場合、乾いた布又は濡らしたタオルを硬く絞って拭いてください。消毒液で拭く際は、エタノール又は次亜塩素酸ナトリウム液(1.2%)を使用してください。その他シンナーや洗剤などの薬品は、変色、変形のおそれがありますので、使用しないでください。

充電方法

本製品をお使いになる前に充電をしてください。

- ① 本製品の充電用 USB コネクタのカバーを開け、Micro USB ケーブルを接続してください。
- ② 充電が開始されると、LED(状態表示)が赤く点灯します。
- ③ 充電が完了するとLED(状態表示)が緑色に点灯します。

※充電時間は2〜3時間です(バッテリーの残量によって異なります)。※充電中も非充電時と同様に使用することはできますが、LED は充電状態を示します。ケーブルを外すと通常の LED 表示になります。

MFB(マルチファンクションボタン)	電話を受ける/切るなど様々な操作をします
電源ボタン	電源 ON/電源 OFF/ペアリングなどをします
ボリュームボタン	音量調節をします
ミュートボタン	マイクとスピーカーをミュートします
LED ランプ (状態表示)	赤色、緑色の LED で、電源/ペアリング/音楽再生/充電などの状態を表示します
LED ランプ (ミュート表示)	橙色の LED で、ミュートの状態を示します
マイク	マイク 2 個を使った指向性マイクです
スピーカー	通話中の音声や音楽を出力します
φ3.5 4 極 イヤホンマイクジャック	CTIA 規格の 4 極ステレオミニプラグ対応です ※3 極のステレオイヤホンも使用できます
充電用 USB コネクタ	付属の Micro USB ケーブルを接続するコネクタです



- 充電完了後、充電用ケーブルは必ず取り外してください。3時間以上経過しても充電が完了しない場合もケーブルを外してください。電池や充電器の発熱、発火の原因になります。
- 充電は 10〜40°C の温度で行ってください。充電中の使用は可能ですが、バッテリーの劣化を早めますので推奨しません。

主な機能

主な機能の紹介をします。操作方法は、「動作一覧」をご覧ください。

- ・本製品のマイクから音声入力
通話、音声認識などに使用できます。
- ・スピーカーからの音声出力
通話、音楽再生などに使用できます。
- ・音量調節機能
通話中や音楽再生中に、音量調節ができます。マイク、スピーカーともに 16 段階で調節することができます。
- ・ミュート機能
通話中や音楽再生中に、ミュートをかけることができます。
・マイクのみミュート
・マイク、スピーカーともにミュートの 2 種類のミュート機能が搭載されています。
- ・オートペアリング
ペアリングモード開始から 2 分間ペアリングが成立しない時や、使用中に接続機器との接続が途切れたまま 5 分経過した時に、自動で電源が切れる機能です。
- ・電池残量表示機能 Battery Service
BLE 対応機種と接続した場合に、機器の電池残量を接続相手の機器に表示する機能です。
- ・モード切替機能
本製品は 5 つのモードを搭載し、それぞれに機能が割り当てられています。各モードの機能や操作方法については、「動作一覧」の頁をご覧ください。
- ・ペアリングされている機器との情報のやり取り
GATT/SPP 通信を使用し、接続されている機器からマイク、スピーカーボリュームの変更などを行うことができます。
- スマートフォンとのペアリング時
・通話機能
通話に関する操作ができます。電話を受ける/切る/発信をキャンセルする/着信を拒否する
- ・ボイスダイヤル
音声認識アプリケーションを起動することができます。接続先の機器により、対応していない場合があります。
- パソコンとのペアリング時
・IP 電話で使用する
IP 電話を利用する際のスピーカーマイクとして使用できます。接続されるパソコンやソフトウェアなどによって設定方法が異なりますので、接続相手側のマニュアルなどを参照し、本製品を使用するための設定をしてください。

ペアリング方法

接続機器に表示される本製品の名称: [WT01-*****]
(*****は Bluetooth Device アドレスの下 6 桁で、固有の値です)
PIN コード(要求された場合のみ) : [0000]

- ① 電源 OFF の状態から電源ボタンを押し続けてください(長押し)。押し始めてから 1 秒程度で電源が ON になります。そのままさらに約 4 秒押し続けるとペアリングモードになり、LED ランプ(状態表示)が赤と緑の交互に点灯します。(工場出荷時や、本製品のペアリング履歴を削除した後は、電源が ON になると同時にペアリングモードになります。)
- ② パソコンやスマートフォンなどの接続機器のマニュアルに従ってペアリングをしてください。
- ③ ペアリングに成功した場合、通知音が鳴り、LED ランプ(状態表示)が 2 秒に 1 回の緑色の点滅に変わります。これでペアリング完了です。

※ペアリングモード開始から 2 分間以内にペアリングが成立しなかった場合、ペアリングモードを自動的に終了し、電源 OFF になります。※ペアリングに失敗した場合は、電源を切り、①からやり直してください。
※Bluetooth 2.1 以降の規格の機器と接続する場合は、PIN コード(パスキー)の入力を省略できる場合があります。

オートペアリング

2 回目からは、ペアリング履歴をもとに、起動時に自動で再接続します。ペアリング可能状態(未ペアリング状態、動作一覧参照)から再接続をしますので、ペアリングモードにする必要はありません。

※最近ペアリングした順に 2 台目までオートペアリングができます。それ以前にペアリングした機器と再接続する場合は再度ペアリングをしてください。



- 本製品と接続機器との距離を近くし、間に遮蔽物のない状態でペアリングしてください。
- 周辺に他の Bluetooth 機器がない状態でペアリングをしてください。

特長

指向性マイク

入力したマイク信号を Bluetooth で接続先の機器に送信します。本製品のマイクは指向性があり、右図の矢印の示す方向からの音をよく拾います。通話機能などを利用する際には口元が右図の音源の方向になるように、向きを調整して使用してください。



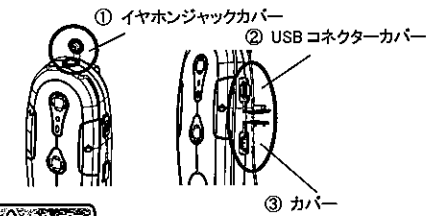
※CTIA 規格のイヤホンマイクが接続されるとイヤホンマイクからの音声を入力します。その際には本体のマイクからは音が入りません。



- マイク使用中は、マイクの 2 箇所穴を手や衣服などで塞がないよう気をつけてください。マイクの本来の特性が得られず、明瞭度やノイズキャンセル効果が損なわれます。

防水機能

本製品は防沫仕様(IPX4 相当)です。小雨程度であれば屋外で使うことができます。カバーは 3 箇所あります。防水性能を維持するために確実に閉め、カバーと本体の間に隙間がないようにしてください。



- 直接水をかけたり、水に浸けたりしないでください。

動作一覧(全モード共通)

モードに関わらず共通の動作です。

ここにはないものはモードごとの頁をご覧ください。また通知音、LEDについてはLED表示、音声通知一覧をご覧ください。

モード3はMFBの機能がミュートボタンに割り当てられています。

モード5はMFBの機能がミュートボタンにも割り当てられています(詳しくはモードごとの頁をご覧ください)。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
電源を入れる	電源ボタン	約1秒間長押し	音声が鳴り、電源が入ります
電源を切る	電源ボタン	約1秒間長押し	音声が鳴り、電源が切れます
ペアリングモード	電源ボタン	電源がOFFの時に約5秒間長押し	電源を入れた後、そのまま電源ボタンを押し続けると通知音が鳴り、ペアリングモードが開始されます
接続可能状態 (未ペアリング状態)	-	-	最近接続した機器に再接続します 再接続が完了すると通知音が鳴ります
スピーカーボリュームを 調節する	ボリュームボタンの +または-	短く1回押す(押し続ける)	1段階変更する毎に通知音が鳴ります 押し続けると変更し続け、最大及び最小に なると通知音が変わります
マイクボリュームを調節 する	MFBと、ボリュームボタンの +または-	同時に押す(押し続ける)	1段階変更する毎に音声が鳴ります 変更されたマイクボリュームの値を示す音 声が鳴ります
電話を受ける	MFB (モード3ではミュートボタン)	着信中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が開始します
電話を切る	MFB (モード3ではミュートボタン)	通話中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が終了します
着信拒否	MFB (モード3ではミュートボタン)	着信中に約1秒長押し	通知音が鳴り、着信を拒否します
発信キャンセル	MFB (モード3ではミュートボタン)	発信中に短く1回押す	通知音が鳴り、発信を中止します
ボイスダイヤルをする	ボリュームボタンの+と- (モード4ではMFBでも可)	同時に短く1回押す	通知音が鳴り、音声認識のアプリを起動し ます (通話、および着発信中は使用できません)
モード切替え	MFBとミュートボタン	同時に約5秒間長押し	長押しを始めると「現在のモード番号」の音 声が鳴ります そのまま押し続けるとモードが切り替わり、 「次のモード番号」の音声が鳴ります
ペアリング履歴の削除	ボリュームボタンの+と-	同時に約5秒間長押し	通知音が鳴り、本製品のペアリング履歴が 削除されます その後ボタンを離すと電源が切れます (接続相手側の履歴は削除されません)

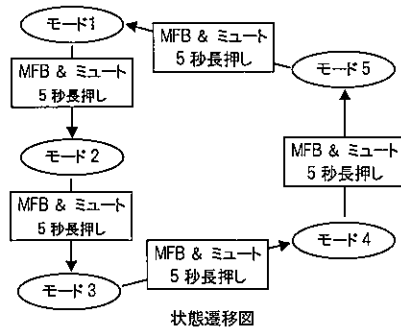
モードについて

本製品は5つのモードを搭載しています。

- モード1 GATT/SPPモード
- モード2 AVRCPモード
- モード3 Push to talkモード
- モード4 ボイスダイヤルモード
- モード5 2ボタン(MFB)モード

モード切り替え方法

- ① MFBボタンとミュートボタンを同時に5秒間長押ししてください。
- ② 押し始めてから約1秒後に、現在のモード番号の音声が流れます。
- ③ 押し始めてから約5秒後に、次のモード番号の音声が流れます。
- ④ 次のモード番号の音声が聞こえたら、モード切替え完了です。



状態遷移図

モードは1つずつ切り替わります。

モード1からモード3にする、というように2つ以上先のモードに切り替える際には、MFBとミュートボタンを押し直してください。

モード1 GATT/SPPモード

モード1 GATT/SPPモードは、GATTまたはSPPで接続機器との通信をするモードです。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
マイクミュートをする	ミュートボタン	マイク使用時に短く1回押す	音声が鳴り、マイク入力がミュートされます
スピーカー、マイク 両方をミュートする	ミュートボタン	約1秒間長押し	音声が鳴り、マイクとスピーカーが両方ミュートされ ます
ミュートを解除する	ミュートボタン	ミュート状態時に短く1回押す	音声が鳴り、マイクとスピーカー両方のミュートが解 除されます

モード2 AVRCPモード

モード2 AVRCPモードは、AVRCPで通信をするモードです。

音楽再生中は、再生、一時停止など音楽再生の制御をすることができます。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
音楽再生/ 一時停止	MFB	音楽再生/一時停止中に 短く1回押す	音楽の再生、一時停止をします
早送り	MFB	音楽再生中に押し続ける	MFBを押し続けている間、早送りをします
曲送り	MFB	短く2回連続して押す	次の曲に移ります
曲戻し	電源ボタン	短く1回押す	曲の冒頭、または前の曲に戻ります
マイクミュートをする	ミュートボタン	マイク使用時に短く1回押す	音声が鳴り、マイク入力がミュートされます
スピーカー、マイク 両方をミュートする	ミュートボタン	約1秒間長押し	音声が鳴り、マイクとスピーカーが両方ミュートされ ます
ミュートを解除する	ミュートボタン	ミュート状態時に短く1回押す	音声が鳴り、マイクとスピーカー両方のミュートが解 除されます

モード3 Push to talkモード

モード3 Push to talkモードは、マイクミュート状態を標準状態とします。MFBを押している間のみマイクミュートが解除され、音声入力ができます。

電話やコマンドの操作は、ミュートボタンで行います。スピーカーミュートはできません。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
ミュートを解除する	MFB	長押し	押している間、マイクミュートが解除されます 音声が鳴りません
マイクミュートをする	MFB	長押しを解除する	再びマイクミュートの状態になります 音声が鳴りません
電話を受ける	ミュートボタン	着信中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が開始します
電話を切る	ミュートボタン	通話中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が終了します
着信拒否	ミュートボタン	着信中に約1秒長押し	通知音が鳴り、着信を拒否します
発信キャンセル	ミュートボタン	発信中に短く1回押す	通知音が鳴り、発信を中止します

モード4 ボイスダイヤルモード

モード4 ボイスダイヤルモードは、ワンタッチでボイスダイヤルのアプリケーションを起動することができます。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
ボイスダイヤル	MFB	短く1回押す	通知音が鳴り、音声認識のアプリを起動します (通話、および着発信中は使用できません)
	ボリュームボタンの＋と－	同時に短く1回押す	
マイクミュートを する	ミュートボタン	マイク使用時に短く1回押す	音声が入力され、マイクがミュートされます
スピーカー、マイク 両方をミュートする	ミュートボタン	約1秒間長押し	音声が入力され、マイクとスピーカーが両方ミュートされます
ミュートを解除する	ミュートボタン	ミュート状態時に短く1回押す	音声が入力され、マイクとスピーカー両方のミュートが解除されます

モード5 2ボタン(MFB)モード

モード5 2ボタン(MFB)モードは、GATT または SPP で接続機器との通信をするモードです。MFB とミュートボタンに同じ機能が割り当てられており、どちらのボタンでも電話に関する操作をすることができます。

ミュートはできません。

機能・状態	使用ボタン	操作	動作
電話を受ける	MFB または ミュートボタン	着信中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が開始します
電話を切る	MFB または ミュートボタン	通話中に短く1回押す	通知音が鳴り、通話が終了します
着信拒否	MFB または ミュートボタン	着信中に約1秒間長押し	通知音が鳴り、着信を拒否します
発信キャンセル	MFB または ミュートボタン	発信中に短く1回押す	通知音が鳴り、発信を中止します

LED表示、音声通知一覧

状態	LED	音声
電源 ON 操作時	赤、緑の同時点灯	Power On, 現在のモード(One など)
電源 OFF 操作時	赤、緑の同時点灯	Power Off
未ペアリング	緑が0.5秒に1回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	-
ペアリングモード	赤、緑が交互に繰り返す点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	2音上がり (E5 A5)
ペアリング済	緑が2秒に1回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	短音 (C5)
接続済み	-	短音 (G5)
着信中/発信中	緑が2秒に1回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	着信音/発信音
着信応答	-	2音上がり (E5 A5)
通話中(SCO 接続)	緑が4秒ごとに1回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	-
通話中 (SCO 接続していないとき)	緑が2秒ごとに2回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	-
通話終了	-	2音下がり (A5 E5)

状態	LED	音声
音楽再生中(A2DP 接続)	緑が2秒ごとに2回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	-
マイクミュート ON	橙の点灯	Mute
スピーカー&マイクミュート ON	橙が2秒ごとに1回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	Speaker Mute
ミュート OFF	橙消灯	Mute Off
モード 1	-	One
モード 2	-	Two
モード 3	-	Three
モード 4	-	Four
モード 5	-	Five
マイクボリューム	-	One~Sixteen
スピーカーボリューム	-	短音 (最小 G4, 最大 G#6, その他 G5)
リンクロス(接続消失)中	橙が2秒ごとに2回点滅 (状態が変わるまで繰り返す)	Disconnected
電池残量不足	点灯、点滅パターンはそのままで色が赤に変化	Battery Low
充電中	赤の点灯	-
充電完了	緑の点灯	-
ペアリング履歴の削除	赤、緑の同時2回点滅	低い長音 (G4) 2回 → Power Off

困った時は

- 電源が入らない
十分に充電されているか確認してください。充電が切れている場合は電源が入りませんので、充電をしてから使用してください。
- Bluetooth 機器とペアリングできない
① 接続機器の Bluetooth 機能が使用可能な状態であるか確認してください。
② ペアリングモードが時間切れで終了している場合があります。その場合は再度ペアリングモードにしてください。
③ 接続機器のプロファイルが本製品のプロファイル("仕様"参照)に対応しているか確認してください。対応していない場合は使用できません。
④ ペアリング履歴の削除("動作一覧"参照)をしてから、再度ペアリングをやり直してください。
⑤ 接続していた機器のペアリングリストから本製品の登録情報を削除し、再度ペアリングをやり直してください。
- 着信中に MFB を押しても通話ができない
一部の接続機器では数回押さないと通話開始できない場合があります。通話が始まらない場合は、何度か押してみてください。
- エコーが大きい(通話中などに自分の声が聞こえてしまう)
スピーカーやマイクのボリュームを下げると改善します。また、イヤホンを使用するとエコーをなくすことができます。
- 音量調節ができない
接続機器のアプリケーションによって、音量の調節ができない場合があります。
- マイクから音声が入力できない
① ミュートになっていないか確認してください。ミュートになっている場合は入力が無効になりますので、解除してください。
② 接続機器により、マイクを手動で設定する必要があるものもあります。その場合は接続機器の説明書の手順に沿ってマイク入力を有効にしてください。
③ マイクの向きや距離、マイクボリュームを調節してください。マイクの向きは元元に向け、距離が遠い場合は近づけてください。
- ノイズが発生する/通話が途切れる
① 周りに電子レンジや 2.4GHz 帯の機器など電波の障害となる機器がないか確認してください。
② 本製品と接続機器との接続が切れていないか確認してください。接続が切れると、一定時間ごとに「Disconnected」の音声が鳴ります。接続機器の距離が遠すぎると接続が切れやすくなりますので、近づけて使用してください。
③ 本製品と接続機器の間に遮蔽物があると、ノイズの原因になります。遮蔽物がない状態で使用してください。

仕様

Bluetooth 仕様	
Bluetooth バージョン	Ver. 4.0
RF 特性	Class 2
対応プロファイル	HSPv1.2/HFPv1.6/A2DPv1.2/AVRCPv1.5 GATT/SPPv1.0
キャリア周波数	2.4GHz 帯
周波数拡散方式	FHSS

音響的仕様

マイク仕様	
形式	2マイクアレイの指向性
指向特性	ハイパーカージオイド
感度	-13dBFS(94dB SPL, マイクボリューム「ten」) 16段階で変更可能
帯域	Wideband speech 対応
最大入力音圧	110dB SPL (1kHz)
スピーカー仕様	
最大出力音圧	89dB SPL (@10cm, 1kHz)

電気的仕様

バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
連続動作時間	8時間以上
連続待機時間	100時間以上
充電時間	2~3時間
充電電圧/電流	5V/150mA
動作温度	-20°C~50°C
保存温度	-20°C~60°C
外形寸法(W・D・H)	38mm×100mm×26.3mm
重さ	52g (本体のみ)
防水性	IPX4 相当

- * 仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- * 本製品は、全ての Bluetooth 機器との接続、動作を保証するものではありません。接続する機器によって性能が変わります。

安全上のご注意

本書には、危害及び財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にご使用していただくために守っていただきたい事項を記載しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱・使用をすると、本人及び第三者が軽傷、または中程度以上の傷を負う恐れがあります。

注意 この表示を無視して誤った取扱・使用をすると、本製品の性能が出ない、または故障する恐れがあります。



- 内部に水や異物を入れないでください。
- 改造、分解、内蔵のバッテリーを取り出すことはしないでください。
- 本製品、本製品の付属品は、小さなお子様やペットの手の届かない所に保管してください。
- 内蔵のバッテリー以外の電池は絶対に使用しないでください。爆発、火災、煙、ガスの発生原因となります。
- 保管するときは日の当たる場所は避けて、湿気の少ない場所に置いてください。温度変化が大きい所で保管すると結露が発生し、故障の原因になる場合もあります。
- 心臓ペースメーカー、植え込み型徐細動器との間は10cm以上離して使用してください。
- 聴覚被害を防ぐため、長時間の大音量設定での使用は避けてください。
- イヤホン使用前に必ず音量の設定をしてください。大音量のままイヤホンを使用すると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。また、長時間の使用も思わぬ聴覚被害の原因になることがありますのでお控えください。
- 異臭や煙が出るなど異常が発生した場合、ただちに使用を中止してください。
- 運転中の使用は居住地域の規制に従ってください。イヤホンを両耳に装着すると外部の音を聞きとりにくくなります。このような状態での自動車、自転車運転は重大事故につながります。運転中の両耳イヤホンの使用は、ほとんどの国や地域の法律で禁じられています。
- 無線機器の使用を禁じられた場所では、絶対に使用しないでください。



- 本製品を落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 充電は10~40°Cの温度で行ってください。充電中の使用は可能ですが、バッテリーの劣化を早めますので推奨しません。
- 長期間使用しない場合でも、定期的に充電をするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。3ヶ月に1回以上を目安にしてください。
- 日本国内、アメリカ以外では、それぞれの国による安全規格がありますので使用できません。
- 廃棄については、各地方自治体の規則に従ってください。本製品の内蔵のバッテリーはリチウムポリマー電池です。
- 屋外では移動しながらの使用はおやめください。

電波に関する注意事項

本製品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。2.4GHz 帯域では、無線 LAN などの無線機器、電子レンジなどの産業機器や科学機器、医療機器の他、工場の生産ラインで使用される免許を要する移動体識別用の構内無線局、及び、免許を要さない特定小電力無線局、アマチュア無線局などの無線局が運用されています。

- 本製品を使用する際、近くに移動体識別用の構内無線局、及び、特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、使用をやめてください。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造を行うと、法律で罰せられることがあります。
- その他、本製品からの移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、なにかお困りのことがございましたら弊社までお問い合わせください。

FCC 準拠基準

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- _ Reorient or relocate the receiving antenna.
- _ Increase the separation between the equipment and receiver.
- _ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- _ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



Mobile Voice WT01

Responsible party name : Primo Microphones Inc.

Address : 1805 Couch Drive, McKinney, Texas 75069, USA

Phone : 972-548-9807 FAX : 972-548-1351

商標について

Bluetooth® ワードマーク及びロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標です。

品質保証書

下記の通り保証致します。

1. 万一、保証期間内（お買い上げ後1年）に製造上の不備に起因する故障が発生した場合は、お買い上げ店または弊社にこの保証書を添えてお申し付けください。
2. この保証書は再発行いたしません。
3. 下記の事項に該当する故障については、保証期間中でも実費を頂くか、修理できない場合がございます。
 - ① お取り扱いが不適当のために生じた故障
 - ② 天災、異常電圧によって生じた故障
 - ③ お買い上げ店または弊社以外の手によって修理、改造が不適当であったために生じた故障
4. 本保証書に必要な所定事項（※印）及び販売店名印のない場合は保証期間中でも修理代金を請求させていただきます。

型名 : Mobile Voice WT01
保証期間 : お買い上げより1年間
お買い上げ日 : 年 月 日

販売店情報

店名 :
住所 : 〒

電話番号 :

お問い合わせ先

株式会社 **PRIMO**

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-3-5

TEL : 042(556)8711(営業・直通)

FAX : 042(556)8721

URL : <http://www.primocorp.co.jp/>

E-mail : eigy@primocorp.co.jp

